

## 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	3	学校名	奈良高等学校
----	---	-----	--------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	吹奏楽でつながる地域とのふれあい体験
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	吹奏楽部が地域の保育園や高齢者施設と連携し、クリスマス、年の瀬訪問演奏を行い、幼児や高齢者とのふれあいを通じて地域との関わりを学ぶ。
連携・協働相手	佐保川こども園、ミック登美ヶ丘（高齢者施設）
地域と共有している目標・課題等	楽しみのある生き生きとした心あたたかいひとときを共有し、音楽を通じて心を通い合わせること。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>吹奏楽部員による企画、選曲、演出、司会により訪問演奏を行った。こども園では赤鼻のトナカイ、ダイナマイト、ディズニーソング、レットイットゴー、ジングルベルなどの楽曲演奏、指揮者体験、クイズ、楽器紹介、部員作の劇等を行った。高齢者施設では加山雄三メドレー、美空ひばりメドレー、フォスター・ソング・ファンタジー、瀬戸の花嫁、東京ブギウギなどの楽曲演奏、楽器紹介などを行った。</p> <p>両施設ともに新型コロナウイルス感染症対策について事前に協議を行った。こども園では新型コロナウイルス感染症対策として年少児と年長児の2グループを2公演で行った。また、高齢者施設では透明ビニールシートを用意していただいた。どちらも新型コロナウイルス感染症流行以前よりも半数程度の、少ない人数で演奏・演技に取り組んだ。吹奏楽器以外はマスク着用で新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>どちらも少人数アンサンブルへの編曲に苦心したが、聴き手の好みに合う選曲ができた。こども園ではクイズの問題を工夫して出題し、部員の創作した劇も楽しんでいただくことができた。高齢者施設では、演奏者の奏でるメロディーに自然とお年寄りの方々がロズさんだり、懐かしのメロディーから涙を流して感動していただけたりする場面もあった。どちらも生徒たちの情操に良い体験となった。これからも対象者に合った選曲、演出、進行を工夫し、有意義な交流を継続していきたい。</p>
--

